

建設水道常任委員会記録

令和4年3月16日(水)午前11時33分～午前11時48分(9階908会議室)

○出席委員(8名)

委員長	萩原 太郎
副委員長	斎藤 正臣
委員	佐々木 優
委員	二階堂 利枝
委員	後藤 善次
委員	梅津 政則
委員	大平 洋人
委員	二階堂 武文

○欠席委員(なし)

○案 件

所管事務調査「除雪に関する調査」

- 1 今後の調査の進め方について
- 2 当局説明の実施について
- 3 現地調査について
- 4 その他

午前11時33分 開 議

(萩原太郎委員長) ただいまから建設水道常任委員会を再開いたします。

初めに、今後の調査の進め方についてを議題といたします。

前回の委員会におきましては、除雪に関する調査を調査事項とすることについてご議決いただきましたが、調査テーマを踏まえ、改めて今後のスケジュールについて協議させていただきたいと思っております。

それでは、スケジュール案をお開きください。以前にもお示ししたとおり、来年の令和5年3月定例会議での委員長報告を想定したスケジュールとさせていただきます。

次回以降ですが、昨日、日程調整をさせていただきましたとおり、まずは4月25日月曜日に当局説明及び現地調査を行い、現状の確認などを行った後、参考人招致や行政視察を順次行う予定としております。

以上のようなスケジュールで調査を進めてまいりたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(後藤善次委員) この一番下で、令和5年の3月で委員長報告ではないですか。これ雪降る前にやったほうがいいのではないのかななんて思ったのですが。12月ぎりぎり。

(萩原太郎委員長) 12月ですか。皆さん、いかがでしょうか。例えば12月に提言しても、それが直ちに市のほうに反映されるかどうかちょっと分かりませんが、皆さんのご意見お伺いしながら。

(梅津政則委員) 私は、冬の前に報告するのだと思っていました。

(後藤善次委員) 何か雪降る前に、9月とか、ちょっとぴんとこないのです。

(萩原太郎委員長) もっと早くですか。

(梅津政則委員) 確かに一番最初のときにスケジュールを最初に確認したときは2月頃に線が引っ張ってありましたけれども、テーマを決めたときには、でも冬前にとかという話もちらっと出ていたやには思うのですけれども、感覚的にはその前というイメージで思っていました。

(萩原太郎委員長) 何かその時期が過ぎてしまうと。

(梅津政則委員) 心配するのは、1年近く積み上げてまとめていくときに、それが次のシーズンのときにそぐわないものだったときに、根底が覆されたときに報告できなくなるおそれもあるという心配もあります。

(二階堂武文委員) 除雪パッケージができるのが冬に入る前ということで、当然ですけれども、秋口になりますので、ですから今梅津委員がおっしゃったような形で、市が打ち出すその除雪パッケージ、9月定例会議であったり、ぶつけてくるのかもしれないですけれども、あと私どもがこの意見をまとめて、委員長報告をどのタイミングでといったときに、逆にそれを見て、その状況も踏まえた上で委員長報告を来年のこのスケジュールに基づいた形で何か提案するという考え方も1つあるかなとは思いますが。

(後藤善次委員) ちょっと9月というのは、今の予定からいくと半分のスケジュールになってしまうから、積み上げもちょっと所管事務調査の期間としてはなかなか難しいのかもしれないですけれども、例えば途中で何かやるとか、それで最終的に3月にまとめるとか、9月の段階で、調べた結果、こういうところが出ているということで、ちょっと中間でもそこまで何か9月にやらせてもらえればいいのではないのかなという。

ちょっと話が違ってもいいけれども、除雪車のリースってもう9月頃に決めてしまうのですよね。今年の冬に雪が多いか少ないかで、3台確保とかってリースでもう確保してしまうわけでしょう。だから、当局にしても9月頃にもう動き出している。だから、そういう意味では何かアクションを起こしてもいいのかなという気がします。

(萩原太郎委員長) 報告書の中間報告ってあるのですか。

(梅津政則委員) ありました。

(大平洋人委員) 何かの委員会でやっていたよね。

(萩原太郎委員長) やっていたっけ。

(梅津政則委員) 庁舎とかもなかったっけ。

(後藤善次委員) 新庁舎はやりました。

(大平洋人委員) では、常任委員会では聞いたことないのかい。

(後藤善次委員) 除雪では季節柄だから、やっぱりタイミングはありますよね。

(萩原太郎委員長) そうですね。皆様がそうにご賛同いただけましたら、9月に中間報告をしてというふうなスケジュールで組み直すということを次の所管事務調査のときに皆さんに提案できるということでいいですか。

(書記) 確かに調査特別委員会などで中間報告というのは前例がありますが、常任委員会のほうで今までそういう事例があったのかちょっと確認して、それも含めて次回の委員会でご報告できるようにまとめたいと思います。

(梅津政則委員) 前例がなくても、今のこのテーマと実情から合わせれば、そういうやり方を取ったほうが、中間報告をやって、次のシーズンの結果も見ながらの最終報告とかという理にかなっているやり方で進めていく方向を確立するなり、考えてもらったほうがいいと思う。前例云々とかではなくて、こうしたいのだけれどもということを進めてもらったほうがいいのではないのかな。その中間報告をやるよという話で、皆さんがそれでオーケーであればですけれども。

(後藤善次委員) せっかくこのテーマがテーマだから、タイミングに合った、所管事務調査の価値的な発表ができるといいですよ。

(梅津政則委員) 何のためにやっているということですからね。

(萩原太郎委員長) そうですね。

(斎藤正臣委員) ただ、9月にやるとなると行政視察前ではないですか。だから、その辺もちょっとうまくスケジュールに合わせて考えて、改めて皆さんに提示するというところでよろしいですか。

(萩原太郎委員長) スケジュールについては、皆さんに改めて9月の中間報告ということでご提示できるようなことでの検討をさせていただければと思います。

(後藤善次委員) 例えば福島で問題点になったことに対して、他市の事例ではこんなものもありますよみたいなことというのは中間報告ができるのかなという、最終的にどんなものもいいですよみたいなものについては3月までやってということなのかなという気がします。

(萩原太郎委員長) そうしますと、当局説明というふうなことで聞きますけれども、その中からもいろんなヒントというか、課題が見えてくるのかというふうにも思っております。

次にですけれども、当局説明の実施についてを議題としたいと思います。

当局説明に関する調査実施内容を正副手元で用意いたしましたので、この内容を基に委員の皆さんと協議させていただきたいと思います。

それでは、当局説明案をご覧ください。当局実施内容案ですが、日時は4月の25日月曜日、場所は

市役所 9 階会議室。

聴取内容としては、所管事務調査、除雪に関する調査として、本市における除雪体制について、①として、福島市道路除雪計画について、②、除雪体制の現状について、③、課題について。

(2) として、今後の取組についてというふうなことであります。

4 番の当局説明員としては、建設部の関係課の職員としております。

もっと細かくお話ししなければいけなかったね。大きくその点でございましたけれども、②の除雪体制の現状の聴取内容としては、これまでの大雪被害後の除雪対応について、そして委託業者及び機械資材の確保、また各地域における積雪状況の情報収集の手法、それから情報収集から除雪の出動に至るまでの流れ、そして庁内での横断的な連携、市民や民間との連携について、それから国、県との連携についてなども説明を受けたいと考えております。

③の課題についての聴取内容としては、庁内連携を図るために担当部局が果たす役割について、生活道路の優先順位の検証について、除雪費用や除雪作業の取組についての周知について、市民や民間への協力要請について、市民や民間に対する除排雪方法の周知についてなども説明を受けたいと考えております。

今後の取組については、除雪力強化パッケージについてなどの説明を受けたいと考えております。

そのほか、皆さんから確認すべき細かな事項についてご質問をいただければと思いますが、追加で聞き取りをすべき内容や聴取項目があれば、何かございますか。伺いたいと思います。

(梅津政則委員) その項目を書いてほしいぐらいだったけれども、よいのではないですか。除雪状況とか、雪の被害状況とかがってメールが来るではないですか。あれの資料の中で、除雪の稼働状況というやつ、別添資料となっているのだけれども、その別添資料ってついてこないのだよ。事務局に聞いたら、何か建設部のほうとかで、数字が動くから、部長会議のときとかもそれを出していないみたいな話をされていて、そこが一番知りたい、要は何月何日のときに道路の除雪をどういうふうに展開したかというやつね。

(萩原太郎委員長) ありますね。

(梅津政則委員) それがなかったら、それが一番知りたいのだけれどもとって言ったのだけれども、そういう資料がついていなかったのですけれども、今委員長の話でその時系列の話も聞くということだったので、そこは聞かなくてはいけないなと思っていたものですから、私はその内容で結構でございます。

(萩原太郎委員長) ありがとうございます。皆さん、よろしいですか。

【「はい」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) それでは、お諮りいたします。

今回の当局説明について、この案のとおり実施することにご異議ございませんか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) それでは、そのようにさせていただきますので、よろしくお願いたします。

この議題について、このほか何かご意見はございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) なければ、以上で当局説明の実施についてを終了します。

では次に、現地調査についてを議題といたします。

昨日、現地調査先として候補に挙がりました福島県北建設事務所ですが、市の管轄外であるために現地調査の対象とはならず、行政視察としての調査となることから、調査の性質が異なる都合上、同日、4月25日での実施は困難となるというようなことをございました。ご了承願います。

なお、行政視察として調査対応が可能かどうかについては、当局を通して県に確認中ですので、結果は後日改めてお知らせをいたします。

以上のことから、4月の現地調査先は維持補修センターとし、除雪機械の維持管理状況の確認をすることとしてよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) ありがとうございます。

なお、現地調査の実施日については、先ほどお話ししましたとおり、当局説明と同日の4月25日月曜日といたします。

それでは、現地調査の実施内容については、当局との調整もありますので、正副委員長に一任していただいてよろしいでしょうか。

【「異議なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) では、そのようにさせていただきます。

こちらは、4月25日当日の現地調査実施前に議決いただくことといたします。

議決は当日になりますが、詳しい行程等が決まり次第、前もって別途お知らせしたいと思います。

次に、その他を議題といたします。

委員の皆さんから何かございますか。

【「なし」と呼ぶ者あり】

(萩原太郎委員長) なければ、以上で本日の建設水道常任委員会を閉会いたします。

午前11時48分 散 会

建設水道常任委員長

萩 原 太 郎